

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495500165	事業の開始年月日	平成23年5月1日	
		指定年月日	平成23年5月1日	
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社			
事業所名	愛の家グループホーム宮前野川			
所在地	(216-0001) 神奈川県川崎市宮前区野川338			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成26年1月10日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月17日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpjDetails.aspx?JGNO=ST1495500165&SVCD=320&THNO=14130
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個別ケアに力を入れております。
 外出、行事等積極的に力を入れており、ご入居者様の気分転換を図っております。また、各階にて、ご入居者様主体で装飾活動を行っており、各居室やフロア等に作品を掲示させていただいております。
 ご入居者様が安心、安全に生活できるよう職員一堂心がけており、社内で行ったご家族様満足度調査でも、高い評価を頂きました。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年2月3日	評価機関 評価決定日	平成26年4月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは東急田園都市線の梶が谷駅からバスで上野川バス停下車徒歩5分程の幹線道路から少し奥に入った閑静な新・旧住宅街にあります。2年余り前に開設した大手グループホーム法人の運営するホームです。鉄骨造りの白い明るい外装を持つ2階建ての建物です。
 <優れている点>
 開設後2年の間に近隣との良い関係をつくりあげています。家主を通じた自治会との関係や近隣住民との行事での交流、ゴミ処理協力、非常時の避難場所提供など、地域密着の理念のもと努力を重ねています。
 ケアプラン内容を現場職員が把握し、実施した内容を項目ごとに経過記録に記入しています。更にモニタリング票に週毎に転記をして、定期的にモニタリングを行うと共にケアプランの見直しにも活かしています。
 管理者と職員のチームワークがよくとれて、両者一体となって「職員も家族の一員」という意識で、利用者に距離感を感じさせないケアを実施しています。
 <工夫点>
 各居室に加湿器を置き、感染防止効果のある水を使用しています。インフルエンザや食中毒感染予防の対策に注意を払っています。
 昼食・夕食時前には、ビデオによる口腔ケア体操を実施し、利用者全員参加で口腔ケアの励行に努めています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	愛の家グループホーム宮前野川
ユニット名	ニコニコユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自治会の加入が難しい状況ではあるが、オーナー様にお願ひし、消防訓練等合同で行っている。 また、緊急時の避難先として、ホームを避難先とする様近隣住民に周知していただいている。	ホームの理念を3つ掲げています。その1つを「様々な機会を通じて、地域の人々とのふれ合いを大切にします」としています。会議の時に復唱して、職員間での理念共有を行い、ユニット毎の個別ケアでの実践に努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域住民との交流を図るため、散歩や外出時に近隣住民との交流を図っている。 行事時には、近隣住民の方々も招き、ご入居者様と共に楽しまれている。	近隣の方と日常的に声かけや挨拶を交わし交流しています。地域の方もホーム主催の夏祭りやクリスマス会に招待しています。自治会に家主さんが加入しているため、家主さんを通じて関係を深めています。ゴミ収集場の清掃などでも近隣と協力し、地域の一員となり日常的に交流しています。	地元の学校、特に小学校とのつきあいは校長への挨拶などきっかけを作っていますので、今後具体的な交流が開始されることも期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	自治会の集まりの際、認知症のご理解を深めていただく為、グループホームの説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度運営推進会議を開催しており、ご入居者様の情報共有や、サービス内容の確認を行いご家族様、地域住民の方々にご理解いただいている。	会議は年6回開催し、家族や家主、近隣住民、地域包括が出席メンバーとなっています。自治会、民生委員からの参加はまだ実現していませんが、協力をあおんでいます。家族のみの開催もあり、実質家族会になる場合もあります。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	定期的に区役所に訪問させていただき、グループホームの状況報告を行わせていただいている。 天災時の協力体制等含め相談させていただいている。	付近の住宅の方がグループホームのことについて知りたいとの相談があり、区の担当課に紹介した例もあります。市・区とはいつでも連携をとれる体制にあり、協力関係を築くよう取り組んでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホーム内の施錠を徹底している。 身体拘束廃止に関しては、マニュアルを作成し職員に周知している。 また、会議時の研修で職員の理解を深めている。	身体拘束については新入職員に必ず禁止事項・行為について教えています。 法人の研修への参加も行い、正しく理解し支援しています。玄関の施錠はしないことで統一しています。（玄関内側からボタンを押すと開く仕組みになっています）	行政主催の研修への一般職員の参加を増やしたいという管理者の意向があります。機会をとらえて実現することを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	弊社内のマニュアルを作成しており、虐待防止に努めている。 また、会議時に虐待となる行為等研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	弊社内の研修にて権利擁護に関する理解を深めている。 また、成年後見人の方とも交流を持たせていただき、ご入居者様の権利について理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結時には、担当者、ご家族様にて読み合わせを行いながら実施している。 2時間～3時間程お時間をいただき、不明点をなくすよう心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関入り口に意見箱を設置し、無記名での意見を募っている。 意見に関しては、ご家族様に配布する手紙の中で返答させていただいている。また、年に一度のご家族様満足度調査を行っている。	意見箱に意見が入っている場合は、毎月家族にあてた手紙でその内容と回答を伝達しています。また災害時や緊急時の対応などホーム全体に関することは全員に配布する手紙で知らせ、意見や要望も貰える様にしています。満足度調査は法人が実施し、意見を反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度行う会議にて職員からの意見を求めている。 また、定期的に職員ひとりひとりに面談を実施し意見交換の場を設けている。	全体会議とフロア毎のユニット会議が意見交換の日常の場となっています。 職員から管理者やリーダーへ意見・相談・提案などを言える関係があり、検討して反映しています。管理者は現場でも空き時間を利用して個別に意見を聞いており、年2回面談もしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に行う面談結果から、今後の課題、対策を決め職員ひとりひとりに合わせている。 また、やりがいを感じられるよう面談時に配慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月に一度の研修を実施、弊社神奈川エリア内での研修も定期的に行い職員の知識向上に努めている。 また、行政で行う研修にも参加させていただき、職員に情報共有を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	近隣のグループホーム、デイサービス等と2ヶ月に一度交流を持たせていただき、情報共有を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居が決まった段階で、ご本人様のご自宅に訪問させていただき、ご本人様、ご家族様から今までの生活歴、不安点、要望を拝聴しケアプランに反映しサービスに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居が決まった段階で、ご本人様のご自宅に訪問させていただき、ご本人様、ご家族様から今までの生活歴、不安点、要望を拝聴しケアプランに反映しサービスに活かしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご入居に関するご相談があった際、現在のサービス内容含め確認させていただき、グループホームの利用だけでなく、他サービスの利用の可能性も含めご提案させていただいている。必要であれば区役所への連絡等も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常生活を過ごす家族として捉えられるよう、炊事、選択、掃除等職員と共にしている。 お声掛けに関しても、「帰ります」等お伝えしないよう出来る限り配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時の情報共有のほか、定期的にご家族様にご連絡させていただき、ご本人様の今の状況を理解させていただいている。 また、今後のケア指針等ご家族様の見解も伺い決めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご入居以降ご家族様了承の基、ご友人を招いたり、ご連絡させていただいたり、官益が途切れないよう配慮している。	家族に了解を得て、友人に面会に来てもらったり、電話を掛けたり年賀状を出す支援もしています。また、近隣のスーパーと一緒に買い物に行ったり、馴染みの関係が継続できるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	各居室装飾や、フローア、廊下等協同部の装飾をご入居者様主体で行っていただき、ご入居者様同士が関われる環境を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後、他サービスをご使用される際には情報の伝達を行い、必要なサービスが受けられるよう配慮している。 また、不安点、疑問点の相談窓口として対応できるようご家族様に周知している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様が行いたいことを尊重できるよう、本人の意向に沿って対応している。 困難な場合には、ご家族様に趣味趣向をお伺いし、それに合わせた支援を行うよう心掛けている。	外出や外食、家族への電話等、一人ひとりの意向に沿った対応をしています。大正琴の演奏や映画鑑賞など趣味を生かした行事を行う等、利用者の思いを取り入れてます。日常の生活の中でも、利用者の希望や意見を聞きながら思いの把握に努め、それぞれに合せ支援をしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居が決まった際の自宅での聞き取りにて、生活歴等を伺っている。 また、可能であればご自宅内のお部屋も拝見させていただき、生活のご様子等理解に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	アセスメントを行い各入居者様のADLの把握に努めている。 心身状態に関しても、ご本人様が安心できる事、不安なこと等を記録に残し、ケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的にモニタリング、サービス担当者会議を行い、介護計画に反映している。 担当者との話し合いに関しても、会議時のケアカンファ、ご面会時の意見交換を行い情報の共有に努めている。	ユニット会議で課題や計画の見直しについての話し合いを行っています。利用者・家族参加の担当者会議を開き、意向等を聞いてケアプランを作成しています。参加が出来ない家族には電話で聞いています。3ヶ月毎に更新をし、毎月モニタリングを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々に介護記録を用意しており、ケアプランの基介護を行っている。 日常の介護での反応に関しても記入しており、情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様、ご家族様の意向により、その時、その場に合わせたケアを心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	行政、学校、幼稚園との連携、交流、情報共有を行い、ご本人様が安心して生活できるよう配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月に2回の定期往診を行い、ご入居者様の身体状況の把握に努めている。 ご家族様に対しても、往診時の情報共有を行うのはもちろん、可能であれば往診時の同席もお願いし、ご本人様の今の状況を理解していただいている。	月2回2ヶ所の医療機関から往診医が来ています。契約時に今迄のかかりつけ医を継続する事も出来る事を伝え選んでもらっています。緊急時には往診医に連絡し、状況によっては往診してもらう体制が出来ています。訪問看護師が毎週身体状況の把握をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度の訪問介護を実施している。訪問時は看護師により対応したことを記録に記入し職員と相談を行う。その後、ご家族様にも情報を共有させていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問を行い、グループホームを認知していただくよう心掛けている。入院時は週に1～3回は面会に訪問する為、ご本人様の状況を拝見させていただき、早期退院をお願いしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に重度化に関する指針としてご説明させていただき、ご家族様の理解に努めている。その際に重度化した際のご本人様、ご家族様の考え等もお伺いしている。	入居時に重度化に関する指針と看取り介護に関する指針の説明をしています。本人と家族の意向を聞きながら話し合いを行っています。未だ看取り介護の状態になった人はいませんが、看取りは家族の協力があれば、往診医と連携できる体制があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	弊社内の緊急時対応マニュアルに沿って対応している。また、会議時の研修にて緊急時の初期対応を学び職員の理解に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的な避難訓練を行っている。また、近隣消防署（分署）に災害時の協力体制の確保として定期的な訪問をさせていただき、理解を深めている。その他、近隣住民の方々の協力もお願ひしご理解いただいている。	年2回の法定防災訓練の内1回は2階からの夜間避難訓練を実施しています。水や非常食については、近隣住民分も含めて余裕を持って備蓄をしています。近隣の非常時にはホームが避難場所になることも知らせています。	避難については、近隣住民や自治会の協力も必要となります。今後も災害時対策の協力関係を深めていくことを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご入居者様の人格を尊重し声掛けに努めている。 時には敬語だけではなく、家族のようにお声掛けさせていただく場合もあり、その際はご本人様、ご家族様にもご理解の基で行っている。	職員は利用者の人格を尊重し日々の支援をしています。場面により家族の一員のようにあたたかみをもって声をかけています。行事に誘う時などは無理強いをせず、本人のペースを大事にして、ゆっくり自由な時間を過ごせるような配慮をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご入居者様との交流の時間を増やしており、希望、要望に関して対応できる旨を伝えている。 その際にはご入居者様に決めていただき、職員は支援を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご入居者様のペースに合わせて、散歩、外出等希望に添った支援を心掛けている。 マンツーマンでの対応を心がけ、ご入居者様が満足できるよう時間を調整している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様に洋服を選んでいただき、身だしなみを整えていただいている。 また、買い物等にお誘いし、ご本人様がお好きな整容用品を購入しその人らしい生活が送れるよう心掛けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ひとりひとりの好みに合わせお食事を提供している。 また、お食事の準備や配膳、片付け等ご入居者様にも参加していただき、楽しめる工夫を行っている。 その他、音楽を流す等リラックスできる空間を提供している。	食事は届いた食材を使い調理専門の職員が作っています。お膳拭きや盛り付け等を利用者も手伝っています。週末には利用者の好みに合わせ献立をして、餃子やハンバーグ等を一緒に作ったり、月1回は寿司や弁当等の出前をとって食事を楽しめるように支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	各食事、水分量を記録に残し、ひとりひとりの状態把握に努めている。 お食事量が少ない方には、栄養補助飲料や、好きな食べ物等をお出しする等工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを行い生活に努めている。 拒否が強い方に関しても、訪問歯科医と連携し口腔ケア方法を学び、少しずつでも清潔に保てるよう工夫、改善している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を使用し、ご本人様の排泄パターンに合わせトイレ誘導を行うよう心掛けている。 その他、排泄の自立に向け、体操や散歩等筋力の向上を心がけている。	一人ひとりの排泄パターンに合わせさり気なく声掛けを行ってトイレへ誘導しています。DVDを使って川崎体操を行い、筋力向上と失禁予防を心がけ、排泄の自立に向けた支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	定期的な研修を行い、便秘が及ぼす影響を職員一同学んでいる。 内服に頼りきるだけでなく、野菜や、運動、乳製品等の接種を促し、薬に頼らなくても排便が出るよう工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	最低でも週に2回以上のご入浴を行い、ご入居されている方の希望に応じて、出来る限り対応している。 入浴時間に関しては、人員の関係により夜間帯に入浴することが出来ない状況である。	手すりのついた浴室で個浴で1日2～3名の入浴をしています。入浴をする時間は一応決めています。声掛けをして拒否があった場合などは時間をおいて再度促す等、本人の意思を尊重して、出来るだけ希望に沿った支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中帯の休息や夜間ご自分のリズムに合わせた休息を促し安心してお休みできるように心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬に関する研修を行い、職員の理解に努めている。 薬の副作用、効能についても薬局の方にご協力いただき定期的に研修を行っている。 服用後の効果に関しては、往診医と情報共有し確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	外出や散歩、工作活動等ご本人様の行ないたいことを実現できるように心掛けている。 ホーム内に籠る事を少しでも減らせるよう外出頻度の向上を目指している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に散歩や外出、買い物等を行っている。 普段はいけないところとして、個別行事としてご本人様に行きたいところを伺い対応している。	週1～2回近くの公園に散歩に行っています。希望に合わせて買物にも車で一緒に出掛けています。月1回は法人のワゴン車を利用して、ファミリーレストランで食事をしたり、歴史博物館やバラ園等にも出掛けています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭の所持に関しては金庫内での保管を行っている。 ただし、ご本人様が所持したいと強く希望される場合はご家族様ご理解の基、所持している。 その際は、金銭の把握を毎日行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話がフロアーにしかない為ご入居者様自らが電話することは難しいが、希望時は職員が間に入り電話ができる環境になっている。 手紙に関しては、ご家族様ご理解の基ご自由に書ける環境としている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節ごとの装飾を心がけ、居心地の良い空間作りを提供している。 装飾物に関しては、ご入居者様主体で作成し作品として掲示している。	リビングは毎日掃除をして、明るく清潔に保たれています。トイレが3ヶ所あり車いす対応になっています。加湿器をリビングと居室に備え快適な温湿度を保っています。行事の写真や貼り絵、書道作品などが壁面に飾られ、暖かい雰囲気のある共有空間になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用部のテーブルは位置の工夫を行い、思い思いに過ごせる様心掛けています。 ソファーに座られ入居者様同士で交流を図る等居心地の良い空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様が使われていた、タンスやベッド、装飾品を出来る限り持参していただき、ご自分の部屋として居心地の良い空間を作れるよう工夫している。また、アルバムや絵画等思い入れのつ酔うものについても持参いただいている。	居室は6.5畳余りの洋間で、床置きクロゼットと空調が備え付けられ、床はバリアフリー仕上げになっています。使い慣れたベッドなども持ち込み可能です。仏壇やタンスなど、それぞれ馴染みの物を持ち込み、心地よく過ごせる居室になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部に関しては、ご入居者様が安心して生活できるよう工夫している。 また、手すりを活用し歩行できるよう配慮する等自立した生活が送れるよう工夫している。		

事業所名	愛の家グループホーム宮前野川
ユニット名	つきみそうユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自治会の加入が難しい状況ではあるが、オーナー様にお願ひし、消防訓練等合同で行っている。 また、緊急時の避難先として、ホームを避難先とする様近隣住民に周知していただいている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域住民との交流を図るため、散歩や外出時に近隣住民との交流を図っている。 行事時には、近隣住民の方々も招き、ご入居者様と共に楽しまれている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	自治会の集まりの際、認知症のご理解を深めていただく為、グループホームの説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度運営推進会議を開催しており、ご入居者様の情報共有や、サービス内容の確認を行いご家族様、地域住民の方々にご理解いただいている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	定期的に区役所に訪問させていただき、グループホームの状況報告を行わせていただいている。 天災時の協力体制等含め相談させていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホーム内の施錠を徹底している。 身体拘束廃止に関しては、マニュアルを作成し職員に周知している。 また、会議時の研修で職員の理解を深めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	弊社内のマニュアルを作成しており、虐待防止に努めている。 また、会議時に虐待となる行為等研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	弊社内の研修にて権利擁護に関する理解を深めている。 また、成年後見人の方とも交流を持たせていただき、ご入居者様の権利について理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結時には、担当者、ご家族様にて読み合わせを行いながら実施している。 2時間～3時間程お時間をいただき、不明点をなくすよう心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関入り口に意見箱を設置し、無記名での意見を募っている。 意見に関しては、ご家族様に配布する手紙の中で返答させていただいている。また、年に一度のご家族様満足度調査を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度行う会議にて職員からの意見を求めている。 また、定期的に職員ひとりひとりに面談を実施し意見交換の場を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に行う面談結果から、今後の課題、対策を決め職員ひとりひとりに合わせている。 また、やりがいを感じられるよう面談時に配慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月に一度の研修を実施、弊社神奈川エリア内での研修も定期的に行い職員の知識向上に勤めている。 また、行政で行う研修にも参加させていただき、職員に情報共有を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	近隣のグループホーム、デイサービス等と2ヶ月に一度交流を持たせていただき、情報共有を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居が決まった段階で、ご本人様のご自宅に訪問させていただき、ご本人様、ご家族様から今までの生活歴、不安点、要望を拝聴しケアプランに反映しサービスに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居が決まった段階で、ご本人様のご自宅に訪問させていただき、ご本人様、ご家族様から今までの生活歴、不安点、要望を拝聴しケアプランに反映しサービスに活かしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご入居に関するご相談があった際、現在のサービス内容含め確認させていただき、グループホームの利用だけでなく、他サービスの利用の可能性も含めご提案させていただいている。必要であれば区役所への連絡等も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常生活を過ごす家族として捉えられるよう、炊事、選択、掃除等職員と共に行っている。 お声掛けに関しても、「帰ります」等お伝えしないよう出来る限り配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時の情報共有のほか、定期的にご家族様にご連絡させていただき、ご本人様の今の状況を理解させていただいている。 また、今後のケア指針等ご家族様の見解も伺い決めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご入居以降ご家族様了承の基、ご友人を招いたり、ご連絡させていただいたり、官益が途切れないよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	各居室装飾や、フローア、廊下等協同部の装飾をご入居者様主体で行っていただき、ご入居者様同士が関われる環境を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後、他サービスをご使用される際には情報の伝達を行い、必要なサービスが受けられるよう配慮している。 また、不安点、疑問点の相談窓口として対応できるようご家族様に周知している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様が行いたいことを尊重できるよう、本人の意向に沿って対応している。 困難な場合には、ご家族様に趣味趣向をお伺いし、それに合わせた支援を行うよう心掛けている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居が決まった際の自宅での聞き取りにて、生活歴等を伺っている。 また、可能であればご自宅内のお部屋も拝見させていただき、生活のご様子等理解に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	アセスメントを行い各入居者様のADLの把握に努めている。 心身状態に関しても、ご本人様が安心できる事、不安なこと等を記録に残し、ケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的にモニタリング、サービス担当者会議を行い、介護計画に反映している。 担当者との話し合いに関しても、会議時のケアカンファ、ご面会時の意見交換を行い情報の共有に努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々に介護記録を用意しており、ケアプランの基介護を行っている。 日常の介護での反応に関しても記入しており、情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様、ご家族様の意向により、その時、その場に合わせたケアを心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	行政、学校、幼稚園との連携、交流、情報共有を行い、ご本人様が安心して生活できるよう配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月に2回の定期往診を行い、ご入居者様の身体状況の把握に努めている。 ご家族様に対しても、往診時の情報共有を行うのはもちろん、可能であれば往診時の同席もお願いし、ご本人様の今の状況を理解していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度の訪問介護を実施している。訪問時は看護師により対応したことを記録に記入し職員と相談を行う。その後、ご家族様にも情報を共有させていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問を行い、グループホームを認知していただくよう心掛けています。入院時は週に1～3回は面会に訪問する為、ご本人様の状況を拝見させていただき、早期退院をお願いしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に重度化に関する指針としてご説明させていただき、ご家族様の理解に努めている。その際に重度化した際のご本人様、ご家族様の考え等もお伺いしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	弊社内の緊急時対応マニュアルに沿って対応している。また、会議時の研修にて緊急時の初期対応を学び職員の理解に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的な避難訓練を行っている。また、近隣消防署（分署）に災害時の協力体制の確保として定期的な訪問をさせていただき、理解を深めている。その他、近隣住民の方々との協力もお願いしご理解いただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご入居者様の人格を尊重し声掛けに努めている。 時には敬語だけではなく、家族のようにお声掛けさせていただく場合もあり、その際はご本人様、ご家族様にもご理解の基で行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご入居者様との交流の時間を増やしており、希望、要望に関して対応できる旨を伝えている。 その際にはご入居者様に決めていただき、職員は支援を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご入居者様のペースに合わせ、散歩、外出等希望に添った支援を心掛けている。 マンツーマンでの対応を心がけ、ご入居者様が満足できるよう時間を調整している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様に洋服を選んでいただき、身だしなみを整えていただいている。 また、買い物等にお誘いし、ご本人様がお好きな整容用品を購入しその人らしい生活が送れるよう心掛けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ひとりひとりの好みに合わせお食事を提供している。 また、お食事の準備や配膳、片付け等ご入居者様にも参加していただき、楽しめる工夫を行っている。 その他、音楽を流す等リラックスできる空間を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	各食事、水分量を記録に残し、ひとりひとりの状態把握に努めている。 お食事量が少ない方には、栄養補助飲料や、好きな食べ物等をお出しする等工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを行い生活に努めている。 拒否が強い方に関しても、訪問歯科医と連携し口腔ケア方法を学び、少しずつでも清潔に保てるよう工夫、改善している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を使用し、ご本人様の排泄パターンに合わせてトイレ誘導を行うよう心掛けている。 その他、排泄の自立に向け、体操や散歩等筋力の向上を心がけている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	定期的な研修を行い、便秘が及ぼす影響を職員一同学んでいる。 内服に頼りきるだけでなく、野菜や、運動、乳製品等の接種を促し、薬に頼らなくても排便が出るよう工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	最低でも週に2回以上のご入浴を行い、ご入居されている方の希望に応じて、出来る限り対応している。 入浴時間に関しては、人員の関係により夜間帯に入浴することが出来ない状況である。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中帯の休息や夜間ご自分のリズムに合わせた休息を促し安心してお休みできるように心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬に関する研修を行い、職員の理解に努めている。 薬の副作用、効能についても薬局の方にご協力いただき定期的に研修を行っている。 服用後の効果に関しては、往診医と情報共有し確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	外出や散歩、工作活動等ご本人様の行ないたいことを実現できるように心掛けている。 ホーム内に籠る事を少しでも減らせるよう外出頻度の向上を目指している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に散歩や外出、買い物等を行っている。 普段はいけないところとして、個別行事としてご本人様に行きたいところを伺い対応している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭の所持に関しては金庫内での保管を行っている。 ただし、ご本人様が所持したいと強く希望される場合はご家族様ご理解の基、所持している。 その際は、金銭の把握を毎日行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話がフローにしかない為ご入居者様自らが電話することは難しいが、希望時は職員が間に入り電話ができる環境になっている。 手紙に関しては、ご家族様ご理解の基ご自由に書ける環境としている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節ごとの装飾を心がけ、居心地の良い空間作りを提供している。 装飾物に関しては、ご入居者様主体で作成し作品として掲示している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用部のテーブルは位置の工夫を行い、思い思いに過ごせる様心掛けている。 ソファに座られ入居者様同士で交流を図る等居心地の良い空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様が使われていた、ダンスやベット、装飾品を出来る限り持参していただき、ご自分の部屋として居心地の良い空間を作れるよう工夫している。また、アルバムや絵画等思い入れのつ酔うものについても持参いただいている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部に関しては、ご入居者様が安心して生活できるよう工夫している。 また、手すりを使い歩行できるよう配慮する等自立した生活が送れるよう工夫している。		

目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム宮前野川

作成日：平成 26年 4月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	自治会の加入が難しい状況。	自治会への加入。 地域住民の理解を得る。	オーナー様へ自治会へ加入したい旨をご報告。 自治会集まりの中で誤認識いただくようお願いする。また、グループホームの理解を深めていただくようお願いさせていただく。	3ヶ月
2	2	近隣住民、地域との交流の場が少ない。	近隣住民からご理解いただけるグループホームを目指す。 地域（小学校、中学校等）との交流機会を増やす。	散歩の際にご挨拶させていただき近隣住民との交流を深める。 行事等で近隣住民の方も招くような催し物を開催し、グループホームのご理解を深めていただく。 また、小学校、中学校に訪問させていただき、交流を深めていけるようにする。	6ヶ月
3	13	災害対策の強化	地域の一員として、災害時に協力し合える体制づくり。	近隣消防団への加入。（自治会加入が前提となるため、上記項目が改善できた際お願いさせていただく。） 消防署（分署）への協力依頼。 ホームの立地が坂が多く災害時に優先的に協力いただけるよう依頼させていただく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月